



キヤノンメディカルシステムズ株式会社

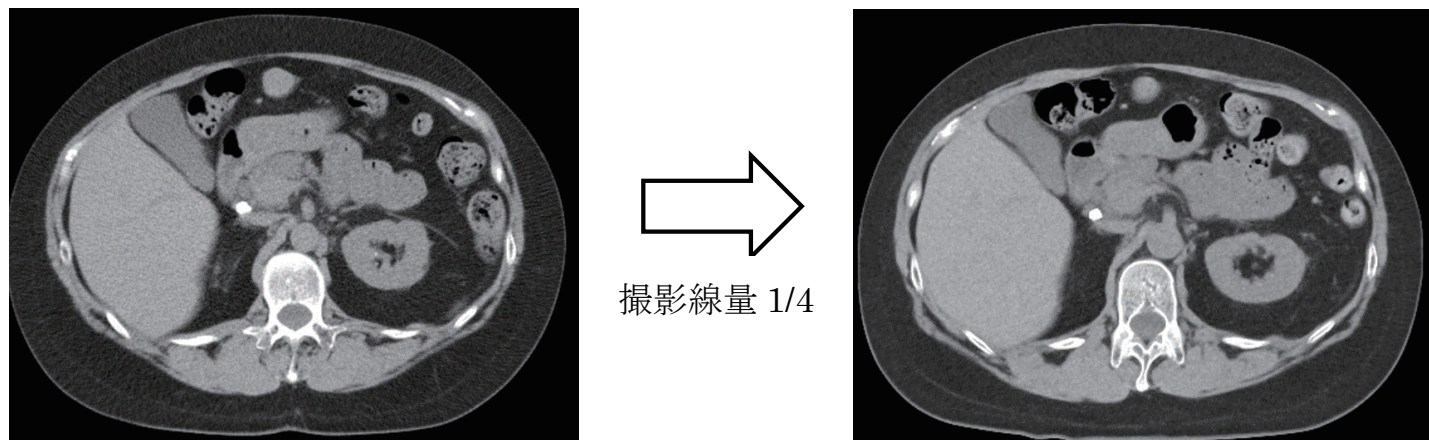
Aquilion Prime SP

今回の CT 装置更新では 80 列検出器を持った最新の CT 装置を導入致しました。80 列検出器による短時間での撮影と、ガントリ開口径が 780mm のワイド・ボアによる広い検査環境を提供し、前装置より患者さんへの検査負担が軽減されます。

CT 装置に搭載されている新技術をご紹介します。

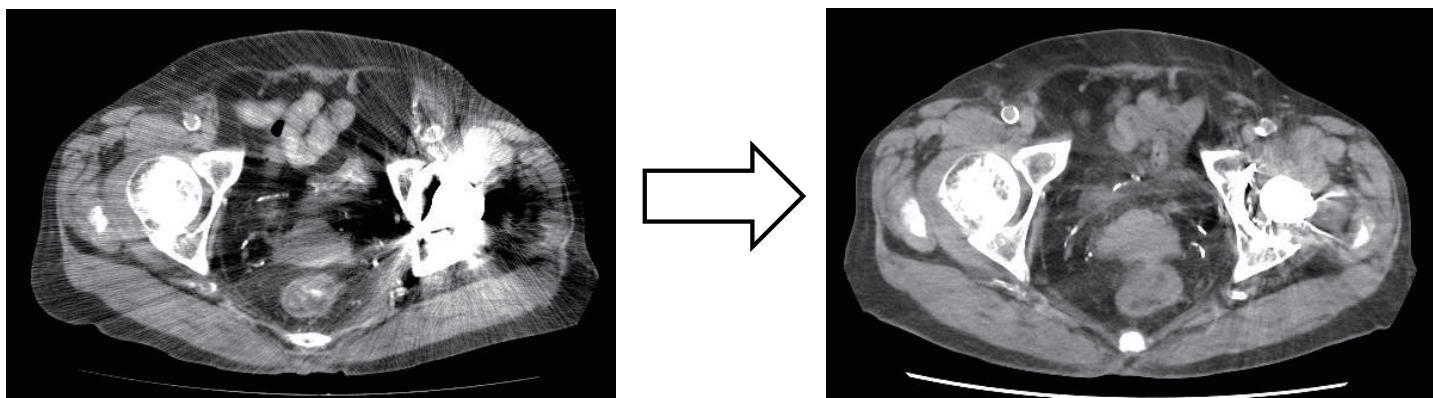
1. 人工知能(AI)を用いた被ばく低減

DeepLearning（深層学習）を用いた世界初の画像再構成技術を搭載しています。これにより、低線量でも安定した画質、空間分解の向上、大幅なノイズ低減効果が得られます。従来に比べ最大で約 80% の被ばく低減が可能となります。



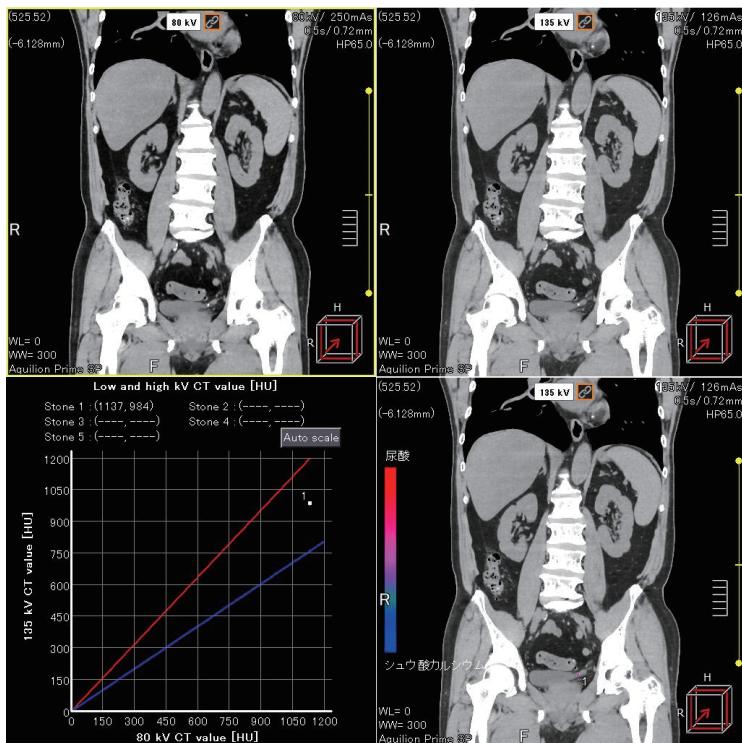
2. 金属アーチファクトの低減技術

画像データから金属を特定し、金属アーチファクトを低減する再構成技術です。従来、金属（高吸収体）付近では、フォトン不足により、CT 値が低下するなどのアーチファクトが発生していました。この再構成技術を用いることで、金属周囲部の視認性が向上します。



3. Dual Energy Scan

異なる 2 つのエネルギー値の X 線で撮影することで、エネルギー透過性の違いから物質弁別、いわゆる質的診断が可能となります。これにより、尿路結石において質的診断が行えるため、カルシウム含有結石と尿酸結石の鑑別が可能となります。さらに、この機能を応用することで、従来 CT では不可能であった骨挫傷などの急性期の骨イベントを描出することが可能となります。



当院には X 線 CT 認定技師が在籍し、臨床の場面において被ばく低減に努めるなど、患者さんには安心して検査を受けて頂けます。詳しい検査内容は医師または診療放射線技師までお気軽にお尋ねください。